

広報 すぎなみ

Suginami

{ 12/15 }
平成29年(2017年)
No.2218



支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

わが街杉並を守る
ためにできること。

災害が発生すると、いち早く現場に駆け付け消火活動や救助活動に当たる地域の消防団は、地域防災の要と言える存在。区内では、杉並消防団と荻窪消防団が地域の安全・安心を守るため、日々訓練を重ねています。
先日開催された第47回東京都消防操法大会に出場し、見事、優勝を果たした荻窪消防団第一分団の指揮者であり、副分団長の藤崎健一さんに、消防団活動への思いについて伺いました。



特集

すぎなみピト

荻窪消防団第一分団

Contents — 主な記事 —

6 | 年末年始の区の業務案内 7 | 29年度上半期 区の財政状況 9 | 図柄入り杉並ナンバープレート提案デザイン決定 16 | 29年杉並区の主な出来事

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | ✍ 編集: 広報課

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

↑
すぎなみビト



interview

荻窪消防団 第一分団

荻窪消防団第一分団：杉並区内に設置されている2消防団のうち、荻窪消防署管内で活動する荻窪消防団は7個分団で組織されている。そのうち第一分団は、主に天沼地区を管轄している。

お話を伺ったのは

副分団長・藤崎健一さん

プロフィール：藤崎健一（ふじさき・けんいち）。昭和43年中野区生まれ。荻窪教会通り商店街に店を構える「藤崎クリーニング」二代目店主。平成5年に荻窪消防団第一分団に入団。現在は副分団長を務める。



消防団の主な活動は？

平常時

- 火災から住民を守るための訓練・教育
- 地域の防災行動力を高めるための初期消火や応急救護などの指導
- 地域のお祭りなどの警戒

災害時

- 消防署と連携した消火活動
- 住民の救助、救護活動や避難誘導
- 逃げ遅れた方等の情報収集
- 災害現場での広報および鎮火後の警戒



第47回 東京都消防操法大会で優勝しました！

杉並区内の消防団として、初の快挙です！

10月21日、東京消防庁消防学校（渋谷区西原）の校庭で第47回東京都消防操法大会が開催され、可搬ポンプ操法の部で荻窪消防団が見事優勝を果たしました。この大会は、都内の消防団が一堂に会し、日頃の消防訓練の成果を出し合うもの。今大会は都内98消防団から代表の24消防団が出場しました。荻窪消防団第一分団は、「消防団の甲子園」といわれる30年秋の全国消防操法大会（開催地は富山県）に出場予定です。



隣の家が燃えているのに、何もできないのは 悲しい。

—東京都消防操法大会初優勝おめでとうございます。

ありがとうございます。消防操法は火災現場でスムーズに消火活動をするための基本操作を身に付けるものですが、僕たち選手にとっては競技に勝つことも大切な目標になっているので、今回、団員みんなと長年努力してきて最高の成績を残せたことをとても喜んでます。

—いつ、どんな訓練をしているのですか。

消防操法の訓練を実施するのは基本的に2～6月の間です。これは毎年6月に荻窪消防団内の消防操法大会があるためで、この期間は週2・3回、夜7時から2時間みっちり訓練します。競技では、放水で的を倒すまでのタイムを競うだけでなく、ホースやポンプの正確な操作や、その動きのキレが

審査の対象になります。手の上げ下げにこだわりながら繰り返し訓練して、正しく素早い動作を身に付けます。

—緊急事態が起こったときには、どのように行動するのでしょうか。

火災発生時を例にお話すると、まず消防署から分団長に電話がかかってきて、分団長から団員に連絡が回ります。僕は緊急車両の運転資格を持っているので、詰め所に止めている可搬ポンプの積載車を運転して現場に急行します。このときはとにかく緊張しますね。緊急事態ですし、サイレンを鳴らして現場に向かうわけですから。現場では消防署の隊員たちの後方支援に当たります。交通整理などが僕たちの役割ですが、火災の規模が大きいときは、自分たちで消火栓を確保して消火活動に臨むこともあるんですよ。

—どんな人が消防団にいるのですか。

僕はクリーニング店を営んでいます。消防操法の選手たちの職業を挙げると、床屋、コンビニの店長、和菓子屋、運送会社の社員などです。団員の多くは昔から荻窪に住んでいて、今の分団長は僕の小学校の時の野球のコーチですし、幼稚園の頃からの顔見知りもあります。一方で、他の地域から荻窪に通勤、通学しているという人も結構います。地元の人とそういう人たちが、荻窪消防団第一分団の団員としてうまくまとまっているのが、この活動のいいところだと思います。

—どうして消防団員になろうと思ったのですか。

きっかけは、25年前に消防団員だった当時の商店街の会長が、父を勧誘してきたこと。父が、「おまえが入れ」と僕に勧めてきたんです。僕は正直、消防団のことをよく知らなかったのですが、制服や階級章が格好良

かったので、「やろう」と決めました（笑）。入団したのは確か25歳のころでした。初めて訓練に参加したとき、自分に一番年齢に近い団員が10歳上だったのには驚きました。でも、気後れるよりもやる気の方が大きかったなあ。

—25年も消防団員を続けてきた原動力は、どこにあるのでしょうか。

使命感ですね。災害の最前線に立つ消防署員とは比べられませんが、それでも消防団には、大切な人、大切な街を守っていく重要な役割があると僕は思っています。隣の家が燃えているのに、何もできないのは悲しいじゃないですか。そんなとき、日頃から訓練している消防団員なら何かできるんです。そう考えるようになったのは、入団してしばらくたってから。訓練を積み、いろいろなことができるようになってきたとき、「これなら、家族や大切な人、大好きな荻窪を守れるんじゃないか」という気持ちが湧いてきました。

でも、使命感だけでは続けてこれなかったかな、とも思っているんですよ。僕の場合、仕事に出動要請があると家族に店を任せることになります。それに消防操法の訓練のために夜に出掛けることも多いのですが、家族は送り出してくれました。消防団員として地域を守ってこられたのは、そんな家族の支えがあったからだと思います。

—地域の安全・安心を守るためにも、まちの消防団がますます充実したものにしたいですね。

そうですね。だけど、どの分団も消防団員のなり手がなくて困っていると聞きます。時代が変わり、地域との関わり方も変わってしまったのかもしれない。そうした中でも女性の入団希望者は増えています。地域の防災訓

練でも、参加者は断然、女性が多いという実感があるので、女性の方が防災意識は高いのかもしれない。

あと、僕は、消防団には入団して初めて分かる消防団活動のやりがい・面白さがたくさんあると思います。僕の場合は消防操法の大会がやりがいになりました。訓練は学校の部活のようで、怒ったり、泣いたり、笑ったりですし、訓練が終わった後の一杯は格別ですよ。でもただ飲むだけでなく、みんなで録画したビデオを何回も再生して一人一人の動作を見直したりもしていますよ（笑）。この年齢になって貴重な体験をしていると思います。

住んでいる人でも、働いている人でも男女を問わず、地元が好きな人にぜひ消防団に入ってほしいと思います。

消防団員募集中！

区の消防団は、杉並消防団・荻窪消防団があります。団員は仕事や学業、家事などに従事しながら、それぞれ杉並消防署・荻窪消防署と連携して活動を行っています。消防団員は特別職の公務員として、報酬などの支給、公務災害の補償などの制度が整備されています。

【入団資格】

区内在住・在勤・在学で18歳以上の方

問い合わせ先：杉並消防団本部（杉並消防署内） ☎3393-0119

荻窪消防団本部（荻窪消防署内） ☎3395-0119